

# ほっこりだより

東向日キリスト教会

京都府向日市森本町下森本6-5

Tel. 075 (931) 5934

<http://www.h-mukou-ch.jp/>

第54号 2010年9月5日 発行

## 人生に確かな土台を

今年も、ゲリラ的な大雨が降りました。道路に冠水し、床上まで水が溢れました。また、土砂崩れで家が倒壊し、多くの人命が奪われました。

安全で、地盤の固い所に家を建てたと思うのですが、まったく予期しない風雨のため、取り返しの付かない大惨事になるのです。それでは私達の人生の土台は確かでしょうか。

### 人生の土台が崩れる事件

最近、仕事も地位も家族もある大人が僅かな物を万引ぎする事件やセクハラで訴えられ、失職する愚かと思えない事件が起っています。これまで積み上げてきた努力が崩れ去り、残された家族はどれほど辛いことでしょうか。

少し前になりますが、人生は金だ。金があれば何でもできると豪語していた青年実業家が更なる金のために犯罪者として逮捕され、折角の人生が無残に崩壊しているのです。

### 何を土台にして人生を築いていますか。

誰でも幸いな人生、楽しい人生、充実した人生を願っています。そのため、学歴を積み、地位や財を得て土台を築こうとします。それが堅固な土台でなければ、砂上の楼閣となる危険があります。大きな嵐の中で、崩れ去ることになるのではないのでしょうか。金が土台とする者は更に欲望が湧いてきます。

ある偉大な王が人生を振り返り、「金銭を愛する者は金銭に満足しない。富を愛する者は収益に満足しない。これもまた、むなし」と述懐しています。またこのようにも語ります「実に神は全ての人間に富と財宝を与え、これを樂しむことを許し、自分の受ける分を受け、自分の労苦を喜ぶようにされた。これが神の賜物である」

### 確かな土台の上に築く人生

確かな土台とは、途中で消え去るものでもなく、永遠に続くものであります。それは、「聖書のことば」を土台に据えることです。

言い換えれば、神と共にある人生です。誘惑から守られるでしょう。失敗しても立ち上がることができるでしょう。病に倒れたり、老衰しても、決して一人ぼっちにされないのです。また、嵐や困難の中にあっても、脱出の道を用意してくださるのです。一つの賛美歌を紹介します。

「人生の海の嵐に、もまれ  
来しこの身も 不思議なる  
神の手により、いのち拾い  
しぬ。」

いと静けき港に着き、  
われは今安らう。救い主  
イエスの手にある身は  
いと安し」

神のことはを土台とし、  
神と共に歩む人生を選んで  
みませんか。



教会案内図です



先月、建物のリフレッシュ改修工事を行ないました。十字架塔に教会名を取付けました。



## イベントのお知らせ

9月16日(木) 10時半～

「敬老の日の集い」

近くのレストランにて会食  
ただし、実費負担となります

10月17日(日) 13時～

「教会バザー」

どなたでもお気軽にお出かけ  
ください。

## ちよつと氣になる話

〇男さんの席はいつも決まっています。

窓際の席に愛用の杖を置いて、新聞を開きます。氣難しそうな横顔に、誰も近寄ることができません。

ある時思い切って

「良かったら、お茶、どうぞ」

「おっ！ ありがとう」

〇男さんは、一瞬、笑顔になりました。周りにいるいつもの人達は、お互いに顔を見合わせました。

お店で買ったお弁当を食べて、数時間をすごします。毎日続くうちに、挨拶や何気ない世間話ができるようになり、周りの人達も会話に加わって「いつものおじいさん」と呼ばれるようになります。

七月の終わり、「いつものおじいさん」が現れません。

「歯医者に行ってたんや」と、遅くなる事はあったけれど、二週間、三週間と姿がなくなり、皆がそれぞれ気にしはじめました。

「病気でもしなけりゃ、良いけどね」

「いつものおじいさん」いつものみんなが心配しています。

涼しくなったらきつと顔を見せて下さると信じています。

そしたら、皆があなたを笑顔にしてみせます。(MN)



## 突然の入院も益に

お産以外には入院したこともなく、健康で少しの熱でも食欲があり、体力的にも自信を持っていました。それが突然の自己免疫性肝炎と診断され、入院したのです。「えっ、私が病気のの!」こんなに元氣だし、自覚症状も無いのに信じられない。でも肝臓は、それくらい沈黙の臓器らしく、氣が付かないでいたら手遅れになるところでした。

仕事も家事も社会生活からも切り離されて治るのだろうか、元の元氣な私に戻るのか。大きな不安の中で長い入院生活が始まりました。

今、すべてを失ったような毎日になりました。しかし、病室の窓から京の山並み、雲の流れ、風光を通して神様が優しく語りかけて下さっていることに氣付きました。

**「すべて疲れた人、重荷を負っている人は**

**わたしのところに来なさい。**

**わたしがあなた方を休ませてあげます。」**

このことは、聖書のことばです。そうだ、今の私は疲れていたのだ。ゆっくり休ませていただく。この病気で、時間をたっぷりいただいで、自分を見つめ直す時にしよう。

今までお世話になった方々や周囲におられる方々に手紙を書く。そして伝えておきたいこと、謝っておきたいこと、感謝しておきたいことなどを手紙で、言葉として伝えておこう。何通もの手紙を書くことができました。

健康に自信があった私は、余り他の人の弱さを理解できなかったのかも知れませんが。この病を通して自分の見る目を変えることが出来そうです。

自分の弱さを認めることは容易ではありません。しかし、入院生活の中で自分を見つめ直すことができました。また、健康のありがたさや家族の存在も感謝する時となりました。幸い、退院できて自宅療養をしています。この病と入院という予期せぬ試練さえも、喜びや感謝する有益な機会となりました。この出来事を忘れずに、全てを守って下さった神様と共に歩みたいと思います。

K・Y子

## 俳句

いにしえの粋をこらした大極殿

中国の文化をつなぐ遣唐使

Y子

心臓で鳴いているような蝉の声

夏休み寝顔の子どもしみじみと

亡き母の梅干し一つ残し置く

古都葉

## 詩

編み難き毛糸に倦みてテーブルに  
うつ伏し休む首筋に

優しきイエスの息吹感じて

ひみ